

平成26年 第4回 伊丹市教育委員会 臨時会 会議録

1. 日 時 平成26年4月1日(火) 午後12時30分～午後12時45分
2. 場 所 伊丹市立総合教育センター 3階 多目的室
3. 主 宰 者 委員 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 川畑 徹朗 小林 万理子 江原 礼子
5. 委員の欠席 木下 誠
6. 傍 聴 人 1名
7. 関係者の出席 管理部長 谷澤 伸二 教育長付参事 堀口 明伸
学校教育部長 太田 洋子 教育総務課長 中井 秀典
生涯学習部長 田中 裕之 教育総務課主査 中村 太郎
教育長付参事 大西 俊己 教育総務課 山本 逸美
教育長付参事 二宮 毅

8. 議 事

- (1) 開会宣言 滝内委員(午後12時30分)
- (2) 日程報告 滝内委員より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員これを了承。
日程第 1 議案第26号の審議
日程第 2 議案第27号の審議

(3) 議案第26号(日程第1)

滝内委員より、この審議における議長として川畑委員を指名する発議があり、全委員はこれを了承。川畑委員が議長となる。

川畑議長より「議案第26号 伊丹市教育委員会委員長の選挙について」を議題とする旨の発議があり、管理部長から、「委員長の任期が平成26年3月31日をもって満了したため、次期委員長の選挙をお願いするものです」との説明がなされる。

小林委員より、委員長の選挙の方法については、指名推薦の方法を用い、指名者は議長とする動議があり、全委員一致にて、これを了承。川畑議長より委員長に滝内委員を指名する。滝内委員は退席し、審議の後、全委員一致で可決。任期は平成26年4月1日から平成27年3月31日までとする。滝内委員長が着席し、挨拶を行った。

審議

小林委員 委員長として、前期もとてもよく活躍されており、人格者で、人徳もある方なので、私も賛同する。

江原委員 私も、次期委員長には滝内委員が3点の理由から最も適任であると考えている。

1点目は、鋭い洞察力、判断力をもって、これまで教育委員長、教育委員として務めてこられた豊かな経験をお持ちであり、そのリーダーシップが期待できること。

2点目は、国において教育委員会制度が変わろうとする中、教育委員会が、より一層使命と責任をもってその任にあたることが求められている状況にあること。

3点目は、滝内委員は、以前はPTA連合会の会長として、また、現在も会社経営者をされており、保護者や地域の方々からの信頼も厚く、市民の目線で教育委員会をリードしていただけると期待できること。

以上3点の理由により、私も滝内委員が次期委員長として最も適任であると考える。

川畑委員 私も先ほど申し上げたとおり。滝内委員は、人の話をよく聞いてくださるので、皆さんの意見をまとめるのに最適の方だと思う。また、江原委員がおっしゃったとおり、教育委員会制度が大きく変わろうとする時期なので、よく慣れていらっしゃる滝内委員に引き続き務めていただくのがいいかと思う。

(4) 議案第24号の審議（日程第2）

滝内委員長から「議案第27号 伊丹市教育委員会委員長職務代行者の指定について」を議題とする旨の発議があり、管理部長から「委員長職務代行者の任期が平成26年3月31日をもって満了したため、次期委員長職務代理者の指定をお願いしようとするものです」との説明がなされる。

江原委員から委員長職務代行者の指定の方法は、指名推薦によるものとし、指名者は滝内委員長とする動議があり、全委員はこれを了承。

滝内委員長より、川畑委員を指名する。川畑委員は退席し、審議の後、全委員一致で可決。任期は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までとする。川畑委員が着席し、挨拶を行った。

審議

小林委員 川畑委員が、研究されている自尊感情を高めることについては、伊丹の教育においてもとても必要なことだと思う。その観点や、普段の鋭い指摘から適任だと思う。

江原委員 私も3点の理由から、次期委員長職務代行者として川畑委員が適任であると考える。

まず1点はこれまで教育への優れた識見をもって委員長を補佐する委員長職務代行者、教育委員として手腕を発揮されてきたことで、教育委員

として信頼も得てこられている。

2点目は、教育委員会への信頼が、より一層求められる中、国や県、他市の動きなどを踏まえて、適格に審議の方向をリードしていただけると期待ができること。

3点目には、学生や市内外の教員の指導のみならず、これまで市内小学校のPTA会長や学校評議員等を歴任されて、学校や保護者を支援してこられている。このような多岐にわたるご活躍から、委員長を補佐するにふさわしい豊かな経験をお持ちであると考えます。

以上の3点から、次期委員長職務代行者としては川畑委員が適任であると考えます。

滝内委員長

委員長職務代行者を昨年度していただく中で、レイマンコントロールの考えを基礎にふまえた教育委員会ではあるが、先ほど小林委員がおっしゃられたように、自尊感情という、今、求められている専門分野をお持ちの川畑委員は、各会議、協議会においても積極的にご発言いただいている。本年度もそのような形で教育委員会をリードし、意見を言っていただくことが一番望ましいと思う。

(5) 閉会宣言

滝内委員長 (午後12時45分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長

滝内 秀昭